



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については毎年3月31日 中間配当および株主優待については毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)	<a href="http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html">http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html</a>

### 【株式に関するお手続きについて】

#### ●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>●単元未満株式の買取請求</li> <li>●氏名・住所等の変更</li> <li>●特別口座の残高照会</li> <li>●配当金の受領方法の指定(※)</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿 管理人

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

#### ●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> <li>●郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>●支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>●株式事務に関する一般的なお問い合わせ</li> </ul>	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。



## 信州りんご三兄弟

りんごの産地として有名な長野県には、「信州りんご三兄弟」と呼ばれるりんごがあることをご存知でしょうか？ 長男「秋映」、次男「シナノスイート」、三男「シナノゴールド」。どれも長野県で生まれたオリジナル品種です。

長男は、「千秋」と「つがる」を両親にもつ『秋映』です。目を惹く濃い赤色が印象的で、9月下旬～10月中旬に出荷されます。次男は、「ふじ」と「つがる」を両親にもつ『シナノスイート』で、その名のとおりの甘みが強いりんごです。三兄弟の中でも人気が高く、10月上旬から11月上旬にかけて出荷されます。そして三男は、黄金色が特徴的な「ゴールデンデリシャス」と「千秋」を両親にもつ『シナノゴールド』です。出荷期は10月中旬から11月ですが、上手に冷蔵保管すれば3ヶ月ほどもつそうです。この貯蔵性の良さと、甘みと酸味のバランスの良い味が評価され、ヨーロッパデビューも果たしました。

個性豊かな信州りんご三兄弟は、生産量こそまだ少ないものの、徐々に人気が高まりつつある将来有望な三兄弟です。

## NAGANO trend 20



▲秋映



▲シナノスイート



▲シナノゴールド

画像提供：全国農業協同組合連合会長野県本部

UD FONT



# Takano

タカノ株式会社

証券コード：7885



# タカノ通信

## Vol.31

### 第58期 年次報告書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

©Snowman Enterprises Ltd. 2011 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.



# 社長メッセージ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
また、本年3月に発生した東日本大震災および長野県北部地震の被災者のみなさまに対して、心からお見舞いとお悔やみを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

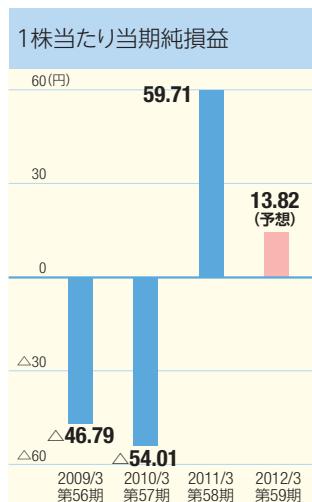
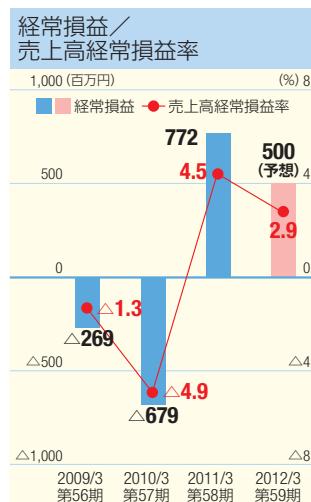
代表取締役社長  
鷹野 準



## 当期の業績について

当期における日本経済は、中国をはじめとするアジア圏の経済回復に牽引され回復基調で推移したものの、円高の進行等先行きの懸念もあり、本格的な景気回復には至りませんでした。また、東日本大震災の影響ははかり知れず、景気の先行きは依然不透明な状況にあります。  
当社グループの主力製品が関係するオフィス家具業界および検査計測装置に関連するFPD（フラット・パネル・ディスプレイ）

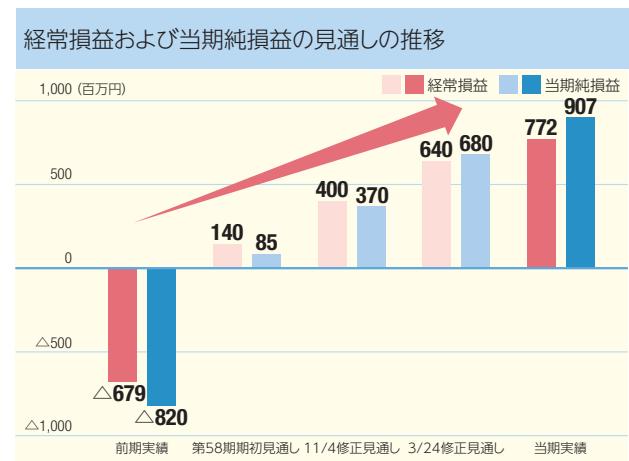
製造装置業界においては、前年度大幅に落ち込んだ需要は、回復傾向に推移いたしました。  
このような環境下、当社グループでは中期経営計画（3ページ：図1）を進めるべく、内外製区分の見直しや製品設計等の標準化を通じたコストダウン、新エネルギー関連分野向けの積極的な営業活動、新規事業開発部門の組織体制強化、中国向け需要を取り込むための営業体制の拡充などに取り組ん



でまいりました。  
その結果、オフィス用椅子、検査計測装置、電磁アクチュエータの販売増加等により、当期の売上高は17,203百万円で、前期比3,204百万円、22.9%の増収となりました。  
また、原価管理の徹底、業務プロセスの見直しや経費削減に

## 次期業績の見通しについて

東日本大震災および震災に起因する諸問題等をはじめ、為替の急激な変動や資源高騰等の影響により、次期の経営環境は非常に厳しいものになると考えております。  
オフィス家具業界においては、企業の設備投資意欲の減退が予測されるとともに、素材価格の高騰が懸念されます。また、FPD製造装置業界においては、需要は微減から横ばいに推移すると思われませんが、引き続き装置販売価格は低下傾向にあり、事業環境は厳しさが予測されます。  
このような厳しい環境下において、当社グループは中期的な



よる固定費の削減等の積極的な合理化の推進等により、営業利益712百万円、経常利益772百万円、当期純利益907百万円となり、期初見通しを大幅に上回る業績となりました（下図：経常損益および当期純損益の見通しの推移）。

行動指針として「大胆な意識改革・構造改革を行う」「新しいことに積極的に挑戦し、差別化を進める」「グローバルの視点で考え、行動する」「ものづくり+αで新たな価値を創出する」を掲げ、今ある危機を克服し、新たな成長路線を築くことを通じて企業価値向上を目指してまいります。  
以上の状況を踏まえ、次期の業績につきましては、売上高17,500百万円、営業利益440百万円、経常利益500百万円、当期純利益210百万円を見込んでおります。また、次期の年間配当金は、1株につき8円を予想しております。

## 年間配当金の推移



## 通期業績の見通し

	連結	単体
売上高	17,500百万円 (前期比1.7%増)	16,000百万円 (前期比0.6%減)
経常利益	500百万円	400百万円
当期純利益	210百万円	140百万円



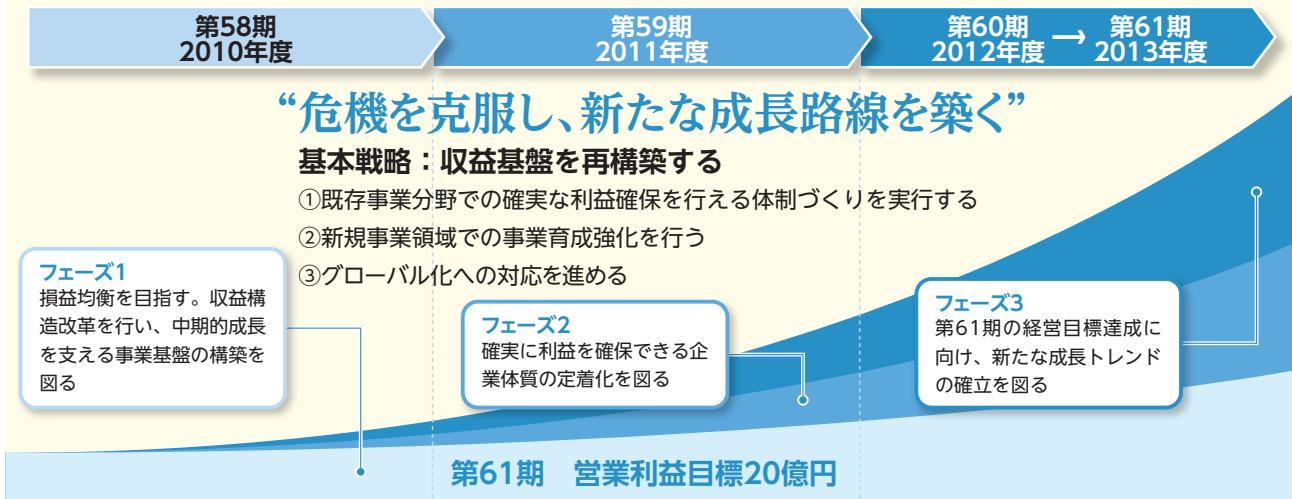
中期経営計画の進捗について

**Point** 収益構造改革と事業基盤強化を進め、黒字化を達成。更に成長路線の構築に向け、着実に布石を打っております。

当社グループでは、中期経営計画（図1）を策定し、最終年度の数値目標である「営業利益20億円」の達成に向け、収益基盤の再構築を進めております。  
初年度となる今期は「損益均衡を目指す」年と位置づけ、既存事業の収益性回復と、中期的成長に向けた足場固めを課題として取り組んでまいりました。その結果、今期は黒字に転じたばかりではなく、期初見通しを大幅に上回る結果となり、中期経営計画の初年度としては順調な滑り出しとなりました。フェーズ2となる次期は、「確実に利益を確保できる企業体質の定着化を図る」年と位置づけております。

フェーズ1において行った構造改革への取り組みを一層推進していくことはもちろん、新たな成長路線への転換へ向けて本格的に跳躍し始める重要な年となります。  
具体的には、構造改革としては、既に家具部門と医療・健康福祉部門の統合や、検査計測装置部門のプロセス改善活動等に取り組んでおり、基本戦略に掲げる“確実な利益確保を行える体制づくり”を着実に進めております。  
一方、新たな成長路線の構築へ向けては、例えば検査計測機器事業において、今後はFPD関連以外の分野——太陽電池や、リチウムイオン電池等の二次電池向けの分野等へも展開

図1: 中期経営計画概略



すべく、積極的な営業・開発を行っております。また、エクステリア事業においては、新たにコントラクト（公共施設）市場へ参入し、自社販売の拡大に努めております。これまでエクステリア事業ではお客さまに対しオーニング中心の提案を行ってまいりましたが、お客さまが真に求めるものはオーニングとそれを取り巻く“空間”であることから、ガーデンファニチャーも含めた販売を開始し、よりニーズを捉えたアプローチの強化を図っております\*。さらに、産業機器事業においては、中国やアメリカ・ヨーロッパ等海外市場向け販売にも注力するなど、各事業において様々な布石を打っております。今後、これらの取り組みを確実に収益に結びつけ、

成長路線を築いてまいります。  
次期においては、東日本大震災の影響が懸念されます。当社グループにおきましては、地震による直接的被害は発生しておらず、今期においては生産および販売へも想定していたほどの影響はございませんでした。しかしながら、震災に端を発する電力供給不足問題等を鑑みるに、今後は当社グループにおいても一定の影響を免れ得ないものと考えております。非常に厳しい経営環境となることが予測されますが、当社グループでは引き続き中期経営計画を着実に実行し、最終年度営業利益目標20億円の達成を目指してまいります。

\*エクステリア事業における取り組みについては、7ページにも掲載しております。

百年企業となる。～常に革新・進化し続ける～

おかげさまで、当社は2011年7月に創業70周年を迎えます。  
創業70周年を目前に、当社ではこの度、今後さらに長期的視点に立った経営を行うべく、長期経営目標を「百年企業となる。～常に革新・進化し続ける～」と決めました。百年企業となるためには、当社のモットーである「他社のできないことをやる」という理念を一層突き詰めて実践していく必要があると考えております。そして、厳しい経営環境の続く中、他社のできないようなことを成し遂げ続け、持続的成長を遂げるためには、常に従来のやり方を根本から変えるような革新に挑み、進化し続けなくてはなりません。当社が隆々と100周年を迎えるためにも、まずは中期経営計画を必達とし、百年企業に向けた持続的成長を支える強固な収益基盤の構築と、成長路線の敷設に注力してまいります。  
当社は百年企業となるべく、社員一丸となって邁進してまいりますので、今後とも未永くご支援ご指導を賜れますようお願い申し上げます。

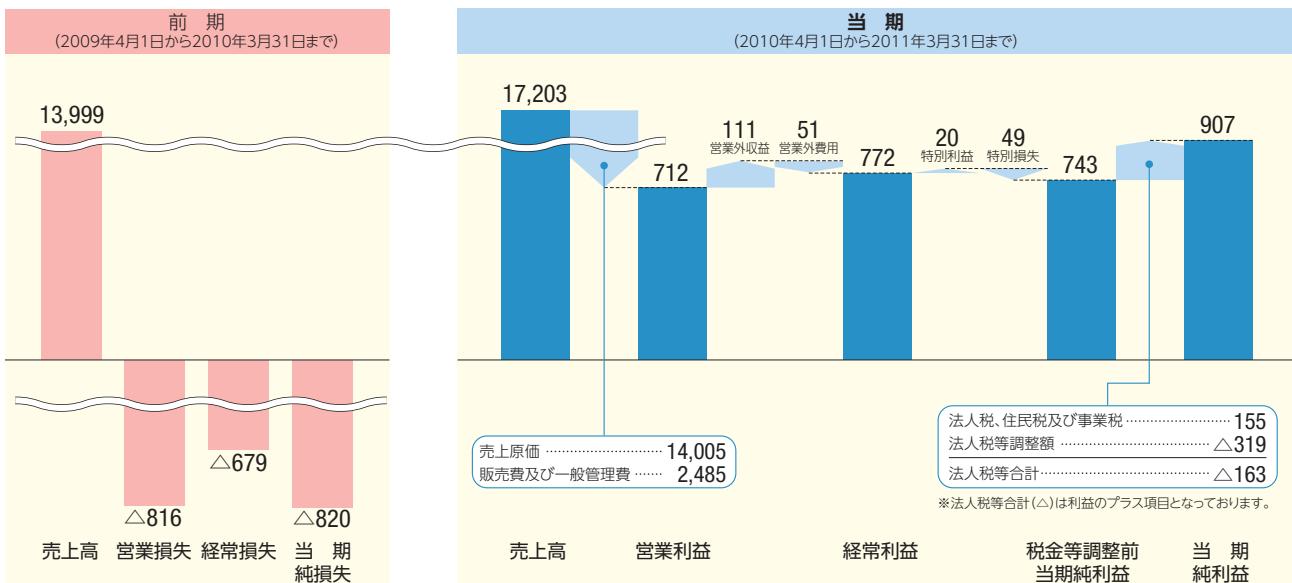




# 連結決算概要(要旨)

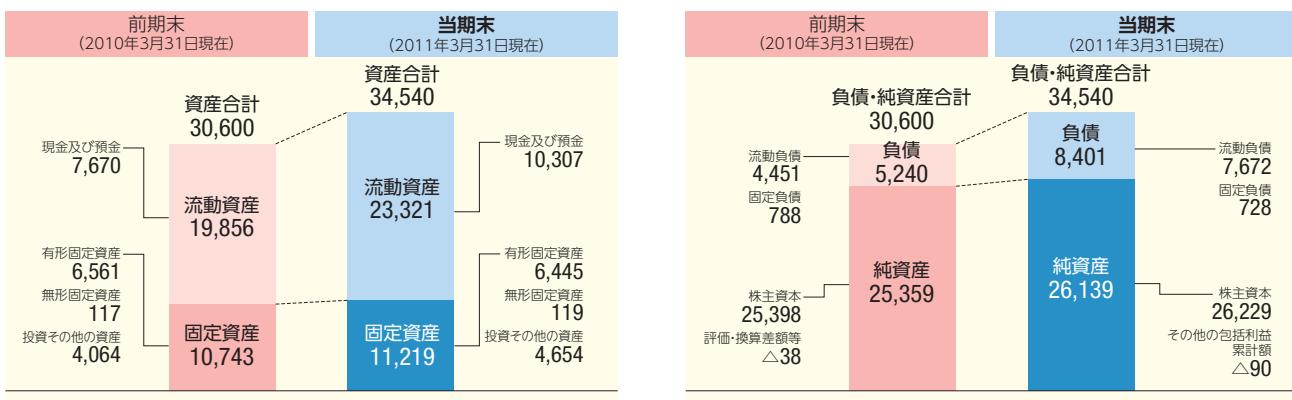
## 連結損益計算書の概要

(単位: 百万円)



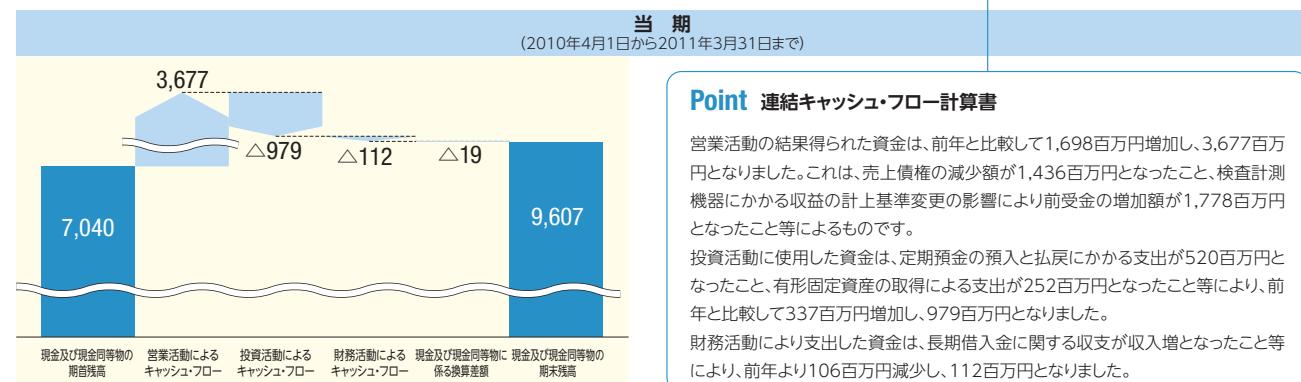
## 連結貸借対照表の概要

(単位: 百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

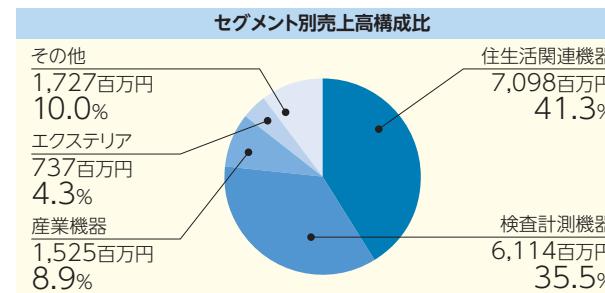
(単位: 百万円)



## セグメント別概況

(単位: 百万円)

セグメント	売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
住生活関連機器	6,089	7,098	16.6%	87	△ 21	-%
検査計測機器	4,648	6,114	31.5%	△ 987	481	-%
産業機器	987	1,525	54.4%	134	300	123.9%
エクステリア	630	737	17.0%	△ 80	△ 107	-%
その他	1,642	1,727	5.2%	12	69	477.2%
セグメント間取引消去	-	-	-	17	△ 10	-%
合計	13,999	17,203	22.9%	△ 816	712	-%



※セグメント別の概況につきましては、前期まで「OEM事業」「エレクトロニクス関連事業」「その他の事業」の3区分としておりましたが、当期より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用したことに伴い、「住生活関連機器」「検査計測機器」「産業機器」「エクステリア」「その他」の5区分へ変更しております。なお、前期の業績の概況につきましては、変更後の区分に組替を行い、表示しております。

## エクステリア部門 コントラクト市場へ参入

かねてより「OEM」と「自社販売」の二本柱で事業を展開してきた当社エクステリア部門では、現在、自社販売拡大の一環として、コントラクト※市場向け販売に注力しております。従来当社ではオーニング単体の販売が中心でしたが、コントラクト市場参入にあたりガーデンファニチャーの販売も開始し、オーニングとガーデンファニチャーの組み合わせによって生み出される“外部空間”を、総合的にお客さまへ提案できる体制を整えております。

また、空間イメージをより明確にお伝えするため、オーニングとガーデンファニチャーを使用した風景写真を数多く掲載したカタログ『Takano Selection』（右図）を作成するなど、より効果的な商品PRに努めております。



<http://www.takano-net.co.jp/exterior/>

Close Up

当社では、今後も販売拡大に向け、魅力ある商品提案に尽力してまいります。

※レジャー施設や商業施設、ホテル、レストランなどの公共空間のこと。

## 当社グループ初のCSR報告書『CSRレポート2010』を発行

タカノでは、CSR（企業の社会的責任）を当社の継続的発展のための重要要素と位置づけ、CSR活動・CSR経営とは「企業活動を通じてステークホルダーのみなさまに貢献し、お喜びいただく」ことであるとの考えのもと、社会のルールを守り、持続的成長・発展を通じて社員の幸福と豊かな社会づくりに貢献し、すべてのステークホルダーに感謝されるような会社となるべく、社会性、経済性、環境保全の各面でバランスの取れた経営を意識してまいりました。

そして、昨年12月、このような当社のCSRに対する考えや、2009年度の取り組みをまとめた『CSRレポート2010』を

発行し、ホームページに掲載いたしました（下図）。今後も「CSRレポート」を定期的に発行し、みなさまへ取り組みをご報告するとともに、CSR活動の振り返りにより、当社のCSR活動を一層向上させてまいります。



<http://www.takano-net.co.jp/csr/>

Close Up

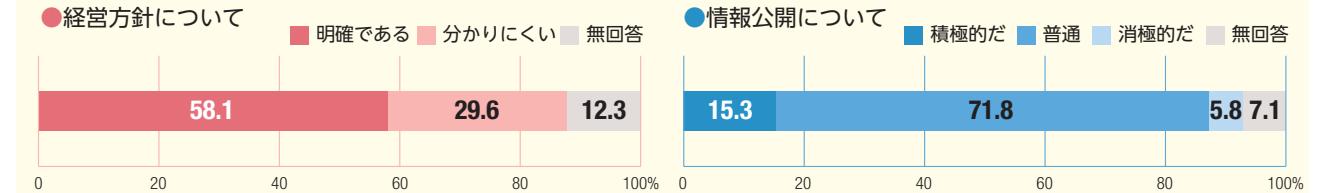
## 株主アンケート結果のご報告

タカノ通信Vol.29においてお願いをいたしましたアンケートには、多数の貴重なご回答をいただき、誠にありがとうございました。

お葉書一枚一枚の向こう側に、株主のみなさまの当社に対する

るあたたかい思いや厳しさが感じられ、私ども一同、身の引き締まる思いでありました。

今回は、紙面をお借りいたしまして、アンケート結果の一部をご報告いたします。



## 株主アンケートのお願い

当社では、引き続き株主アンケートを実施させていただき、みなさまのご意見等を今後のタカノ通信の編集に活かすとともに、より良いIR活動の実施に活かしてまいりたいと考えております。つきましては、お手数ですが、添付いたしました「アンケートはがき」にお気づきの点を何なりとご記入のうえ、ご返送いただければ幸いです。みなさまのご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 株主優待制度のご案内

2010年度の株主優待は、2010年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは下記A～Fの6点の商品のなかから1点お選びいただき贈呈いたしました。また、100株以上1,000株未満所有の株主の

みなさまへは、当社で販売している「高嶺ルビー（赤そば）はちみつラスクセット」を贈呈いたしました。今後の優待品も、みなさまにお喜びいただけるよう厳選の品をお送りする予定でありますので、ご期待ください。



A.山ぶどうワイン



B.信州りんご



C.高級なめ茸「志賀の郷」



D.信州のやまいも



E.信州富士見高原ハム・ソーセージ



F.市田柿



# 会社概要

## Corporate Profile

### 会社概要 (2011年3月31日現在)

商号 タカノ株式会社  
 本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137  
 創業 1941年7月1日  
 設立 1953年7月18日  
 資本金 20億1,590万円  
 事業内容 事務用椅子、その他椅子等の  
 オフィス家具、ばね、エク  
 テリア製品、エレクトロニク  
 ス関連製品、医療・健康福祉  
 機器の製造並びに販売  
 従業員数 455名  
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部

### 役員 (2011年6月29日現在)

代表取締役社長 鷹野 準  
 常務取締役 鷹野 力  
 常務取締役 小田切 章  
 常務取締役 大原 明夫  
 取締役 窪田 守男  
 取締役 久留島 馨  
 取締役 臼井 俊行  
 取締役 黒田 章裕  
 取締役 山口 努  
 常勤監査役 戸枝 茂夫  
 監査役 長谷川 洋二  
 (社外監査役)  
 監査役 小澤 輝彦  
 (社外監査役)

### グループ会社

- 株式会社ニッコー  
 住所 長野県上伊那郡宮田村  
 事業内容 工具・器具機械等の仕入販売  
 資本金 90百万円
- タカノ機械株式会社  
 住所 長野県上伊那郡宮田村  
 事業内容 省力化機械の製造販売  
 資本金 50百万円
- 台湾鷹野股份有限公司  
 住所 中華民国台北縣林口鄉  
 事業内容 検査装置の保守サービス  
 資本金 20百万新台幣元
- タカノコリア株式会社  
 住所 韓国京畿道安養市  
 事業内容 検査装置の製造販売  
 資本金 10億ウォン
- 上海鷹野商貿有限公司  
 住所 中華人民共和国上海市  
 事業内容 オフィス椅子等の仕入販売  
 資本金 25万米ドル

※上記グループ会社は全て出資比率100%の子会社です。

### ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。是非ご覧ください。



<http://www.takano-net.co.jp>

### オンラインショップリニューアル

本年4月、当社健康福祉部門のオンラインショップをリニューアルいたしました。

オンラインショップには、赤そば「高嶺ルビー」の特徴やその開発経緯、育て方から各地のイベントまで、高嶺ルビーにまつわる様々な話題を掲載しており、“買う”だけでなく、“読む”ことでもお楽しみいただけます。

高嶺ルビーはちみつやそばをはじめ、そばのタネ、高嶺ルビー甘酒、機能性食品「コタラノール」といった当社健康福祉部門の商品を数多く販売するオンラインショップを、ぜひ一度ご覧ください。



<http://www.takano-hw.jp/>



# 株式の状況 (2011年3月31日現在)

## Stock Information

### ●株式・株主の総数

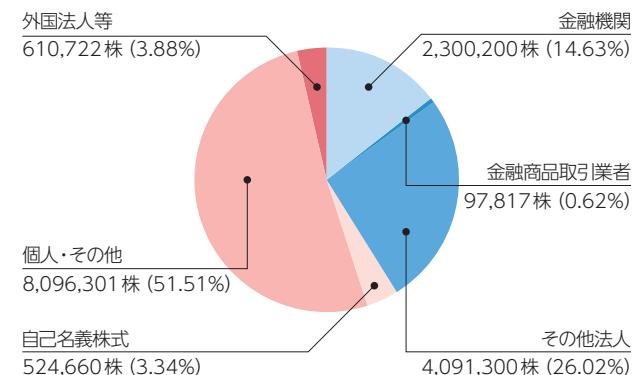
発行可能株式総数 50,000,000株  
 発行済株式総数 15,721,000株  
 株主数 5,400名

### ●大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	13.68%
鷹野 準	1,738,700株	11.05%
堀井 朝運	1,487,400株	9.46%
日本発条株式会社	1,151,500株	7.32%
みずほ信託銀行株式会社	1,000,000株	6.36%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	557,400株	3.54%
タカノ株式会社	524,660株	3.33%
鷹野 力	416,100株	2.64%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	305,800株	1.94%
株式会社八十二銀行	283,900株	1.80%

(注) みずほ信託銀行株式会社の保有株式は、すべて日本発条株式会社の信託財産であります。

### ●所有者別株式の分布状況



### ●株価の推移

